

自動運転レベル4に向けた申請準備及び実証実験 支援業務委託 仕様書

1 業務名

自動運転レベル4に向けた申請準備及び実証実験支援業務委託

2 業務の主旨

現在、田原地域では自動運転レベル2を活用した移動支援を地域主体で実装している。本業務は、安心・安全かつ持続可能な移動手段として確立するため、令和10年度の自動運転レベル4実装に向けた申請準備及び実証実験等の支援を行うものである。なお、受託者は本仕様書条件を充足するとともに、「自動運転レベル4に向けた申請準備及び実証実験支援業務委託公募型プロポーザル実施要領」における提案内容にも即して業務を実施すること。

3 契約期間

契約締結日から令和9年3月25日まで

4 履行場所

受託事業者内及び本市が指定する場所

5 業務内容

本業務に使用する車両の仕様

車両名	低速電気自動車 ヤマハ AR-07 (ヤマハ発動機)
車長・車幅・車高	3,955 mm×1,354 mm×1,837 mm
乗車定員	7名(運転手含む)
自動運転ソフトウェアパッケージ	ADENU(株式会社エクセイド)
遠隔監視システム	株式会社ソリトンシステムズ

(1) 企画、実験準備調整

- ・スケジュールや実施計画の立案等の企画
- ・打合せ、定例会、大阪府四條畷市レベル4モビリティ・地域コミッティ会議等への参画及び資料作成等
- ・関係省庁、警察、公安委員会、道路管理者、自動運転システム事業者との調整等

(2) 自動運転レベル4許認可申請準備

- ・令和10年度の実装に向けた許認可取得における道路運送車両法（自動運行装置に係る走行環境条件付与）及び道路交通法（特定自動運行許可）にかかる審査書類の調査及び申請準備

(3) リスクアセスメント

- ・国土交通省が定める「自動運転車の安全確保に関するガイドライン」等に基づき、自動制御箇所及び信号認識システム箇所を対象とし、5日間以上の走行試験を実施し、安全性の検証、評価等を行うこと
- ・走行ルートの特徴、車両特性、通信環境等を踏まえたリスクシナリオを検討し、抽出されたリスクに対する低減措置、対策等を立案すること

(4) 実証実験

- ・自動制御箇所（7箇所・別紙参照）及び信号認識箇所（1箇所・別紙参照）を対象とした走行試験（走行試験計画案含む）
- ・5日間以上（曇天、雨天含む天候の異なる日）の実施
- ・信号認識システム実証実験による成果、評価、検証
- ・車両システムによる自動制御化実証実験による成果、評価、検証
- ・評価や検証を行うにあたっては、運行ボランティアへのヒアリングを行うこと

(5) とりまとめ

- ・概要版含む、報告書作成

6 成果品

- ・成果報告書（正本・副本） 各1部
- ・成果報告書概要版 500部
- ・電子媒体

7 その他

- ・発注者が保有している資料（電子データを含む）については、業務に必要なものは受注者に貸与するものとする。この場合、受注者は貸与された資料リストを作成し、業務完了時に発注者に返却するものとする。
- ・本業務で得られた成果品の所有権、著作権は発注者に帰属するものとする。
- ・この仕様書に記載のない事項については、市と受託者が協議し決定する。

- ・ 提出された提案書類について、非公開扱いを希望する場合は、資料の右肩に、「非公表資料」と記載すること。